

特集 2

体温調整をサポートする装備の導入

ワンポイント・アドバイス

- 暑い時間帯を避けて作業するのが対策の基本ですが、作業工程や役割分担などにより、それが難しいのも現実です。
- そのような時は、次のアイテムを導入し、身体の負担を減らしましょう。

こんな悩みありませんか

- ☑ 夏にヘルメットを被ると頭が蒸れて不快・・・
- ☑ 日よけとして帽子は被るんだけど、もう少し涼みたいな～
- ☑ まずは、手ごろなアイテムが欲しい！

ヘルメット 帽子

Point 1

作業安全において、**ヘルメットは必須**のアイテムです
新たに購入を考えている方は、
夏場の作業も見越して、
素材・機能性を確認しましょう



▲遮熱素材を練り込んだヘルメット



▲衝撃吸収材を見直すことで
通気性が向上

Point 2

ヘルメットにも、**ファンを活用した
アイテム**があります

内部の空気の通りを良くして
爽快感を得たり、首元を冷やして
火照りを和らげましょう



▲ヘルメット内部にファンを取付け



▲お手元のヘルメットに後付け

Point 3

ヘルメットを買い替えなくとも、
できる対策があります

インナーを導入して、もっと
手軽に冷涼感を得ましょう



▲汗の気化熱を利用する
インナー



▲保冷剤を併用できるインナー

Point 4

帽子にもプラス・ワン

上で紹介したインナーは、
帽子でも利用できます

加えて、ファンの装着で
帽子を被る際も快適に
なりましょう



▲専用マウントでハンディファンを帽子に装着するアイテム

ネッククーラー

Point

首元は多くの血管が集まって
おり、**冷やす場所として最適**
です

お手軽アイテムもありますので、
一つは用意しておきましょう



▲水を含ませて使用



▲氷水などで冷やして使用



▲充電して使用

22℃で凝固
する新素材
ほどよい冷たさ